

Trimble Business Center Ver.5.20 アップデート機能一覧

分類	機能	改良内容
システム	全般	不適切な日本語を改善しました。
インポート	CSV⇒点群インポート	CSVファイルから座標を読み込み、ポイントクラウドとして登録する機能を追加しました。北距・東距・高度の列を定義できるほか、登録したポイントクラウドに座標系の縮尺係数を適用するか否かを指定することができます。
エクスポート	LandXML(3次元設計データ)エクスポート	コリドーのオリジナルの地面に関連づけられている面が頂点や三角形を持っていない時に、エラーが出る件を改善しました。
エクスポート	マシン作業現場設計エクスポート	annten32.dllが見つからないというエラーメッセージが表示されエクスポートできない件を改善しました。
エクスポート	TOWISE連携	ドレープ線がCADデータとして出力されていなかった件を改善しました。
コマンド	トータルステーションエディタ	SX10などでスキャンした結果をジョブXMLファイルにより読み込んだ後、トータルステーションエディタを開いてキャンセルをクリックすると、ジョブXMLファイルの読み込み処理がUndoされる件を改善しました。
コマンド	扇形の作成	扇形を作図するマクロコマンドを新しく追加しました。Point Cloud By Boundaryマクロコマンドを併用することで、扇形内に含まれる点群を選択することができます。
コマンド	三次元数量レポート	切土でも盛土でもない、平坦として識別するための誤差許容値の入力を追加しました。
コマンド	出来形合否判定総括表	河川浚渫工用の浚渫船運転工の設定を新しく追加しました。
コマンド	出来形合否判定総括表	出来形合否判定総括表に出力される工種や種別を自由に設定できる機能を追加しました。
コマンド	出来形合否判定総括表[舗装]	出来形判定から除外する領域を指定する機能を追加しました。
コマンド	平坦性管理表	地上型レーザースカナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)平成31年4月版で規定されている平坦性管理表を出力する機能を追加しました。
コマンド	精度確認試験結果報告書[土木]	地上型レーザースカナーを用いた出来形管理要領(土工編)(案)平成30年3月版で規定されている、精度確認試験結果報告書を出力する機能を追加しました。
コマンド	精度確認試験結果報告書[舗装]	地上型レーザースカナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)平成31年4月版で規定されている、精度確認試験結果報告書を出力する機能を追加しました。
コマンド	精度確認試験結果報告書[MMS土工]	地上移動体搭載型レーザースカナーを用いた出来形管理要領(土工編)(案)平成31年4月版で規定されている、モービルマッピングシステムを用いた場合の精度確認試験結果報告書を出力する機能を追加しました。
コマンド	精度確認試験結果報告書[MMS舗装]	地上移動体搭載型レーザースカナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)平成31年4月版で規定されている、モービルマッピングシステムを用いた場合の精度確認試験結果報告書を出力する機能を追加しました。

Trimble Business Center Ver.5.20 アップデート機能一覧

コマンド	精度確認試験結果報告書[施工履歴]	施工履歴データを用いた出来形管理要領(河川浚渫工事編)(案)平成30年8月版で規定されている、精度確認試験結果報告書を出力する機能を追加しました。
コマンド	地形モデルの最適化	三次元点群データを使用した断面図作成マニュアル(案)平成31年3月版で規定されている、地形モデルの最適化 精度管理表を出力する機能を追加しました。指定された許容値の範囲内で頂点を間引いた面を作成し、同時に間引きの結果を精度管理表として出力します。
コマンド	測地座標系への変換精度管理表	地上レーザースキャナーを用いた公共測量マニュアル(案)平成30年3月版で規定されている、測地座標系への変換精度管理表を出力する機能を追加しました。
コマンド	地上レーザースキャナ・標定点配置図	地上レーザースキャナーを用いた公共測量マニュアル(案)平成30年3月版で規定されている、地上レーザースキャナ・標定点配置図を出力する機能を追加しました。

2019年11月
(株)ニコン・トリンブル